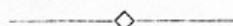


目 次



特別研究の部

- 達成動機（やる気）と向社会的動機（思いやりの心理）の研究 岸 本 弘 1
 第一次世界大戦期のドイツ水兵の世界——1917年夏の水兵の運

- 動前後 三 宅 立 17

共同研究の部

- 森鷗外の史跡調査（都内、佐倉、上田、津和野、小倉、宮崎、鹿児島等） 大 島 田 人 他 1 名 39
 ニリザベス朝文学の研究 由 井 武 夫 他 3 名 41
 文学の中の現実を超えるもの 三 浦 清 宏 他 1 名 43
 外国語教育 坂 下 進 他 5 名 45
 レアリストの意義と問題 田 島 宏 他 2 名 46
 美術家の演劇創造への協業についての史的研究 山 田 恒 人 他 1 名 48
 テニスの指導法に関する研究（そのIV） 平 川 信 夫 他 7 名 50
 スポーツ動作のバイオメカニクス的研究 佐 藤 隆 他 1 名 52
 レスリング選手の換気応答に関する研究——階級差からみた有酸素的作業能 笠 原 茂 他 1 名 55
 中高年者の健康と身体活動に関する研究（6） 黒 田 信 寛 他 2 名 57

個人研究の部

- 明治社会主義と文学の相関 吉 田 悅 志 60
 近松を中心とする近世演劇の研究 原 道 生 60
 啼木の断片について——所謂『明治四十三年創作ノート』に関する調査 小 川 武 敏 61
 越後・越中・能登の古蹟調査——上路の山姥 大 久 間 喜 一 郎 62
 昭和十年代の文学の研究——三好十郎「斬られの仙太」を巡って 佐 藤 義 雄 63
 大伴家持の研究 比 護 隆 界 64
 現代中国における文化と社会の研究 岩 崎 富 久 男 65
 「狂飆社」をめぐる文学状況 尾 崎 文 昭 66
 “介詞+N P + V P” の否定のしかた 相 原 茂 67
 戦後社会の比較研究 入 江 隆 則 68
 米豪比較研究——カウンターカルチャーについて 越 智 道 雄 70
 The English Inns 杉 恵 悅 宏 71
 コモンウェルス文学特にインド英語文学の研究——M. R. アーナンドにおけるガンディー主義の影響 山 本 恒 72
 ジョン・ファウルズ研究 結 城 英 雄 73
 文学における場所の思想——イギリス宗教詩の伝統を中心として 鈴 木 聰 74
 イギリス民衆文芸研究 岡 崎 康 一 75
 マイナー文学への讃辞 亀 山 照 夫 77
 ハーマン・メルヴィル研究 須 山 静 夫 78

アメリカ文学における黒人文学の位置（X）	関 口 功	79
現代英詩研究	羽 矢 謙一	80
英語の新語と流行語について	堀 内 克明	81
メルヴィル研究	牧 野 有通	82
19世紀アメリカ小説（ボウとホーソーンを中心に）	大 崎 ふみ子	84
スタインベックの反リアリズムと挿話的手法	井 上 謙治	85
芸術における奥行	近 藤 正毅	86
現代アメリカ黒人文学の研究	浜 本 武雄	87
アメリカ構造言語学と科学のエピステーメ	浜 口 稔	88
問良な野蛮人の研究——十八世紀ヨーロッパとタヒチ島——	藤 平 懿郎	90
現代ドイツ小説研究——マルティン・ヴァルザ論——	遠 山 義孝	91
文学と犯罪	水 野 光二	92
現代オーストリア文学研究	佐 藤 俊哉	93
ヌーヴォー・ロマン研究——小説の名称学の試み	小 畑 精和	94
ロンサールの詩と詩人観	高 田 勇	95
ヴィクトール・ユゴーの宗教	渡 辺 誠	96
近代日本演劇史研究	菅 井 幸雄	97
明治政党成立史研究	渡 辺 隆喜	98
中国古代の編戸制と身分制	堀 敏	99
ニノー地方における都市と農村——慣習法文書にみられる		
「自由と自治」について	斎 藤 純子	100
企業の海外進出とアメリカ政府	林 義 雄	101
東京の地域構造に関する研究	江波戸 昭	102
スペイン経済誌研究	長 岡 顯	102
空間組織論研究	藤 田 直 晴	103
身体図式の研究	市 川 浩	104
都市移動者の定着過程と橋渡機能集団に関する研究	孝 本 貢	105
ビーテル・ブリューゲルの絵画的源泉について——「バベルの塔」を中心として	森 洋 子	106
部落の現状と同和教育の課題	三 上 昭 彦	107
スポーツ選手の運動練習および質量について	原 田 二	108
付 人文科学研究所規程及び内規		110